

令和の逆参勤交代が創る 農山漁村の未来

MRI 三菱総合研究所

主席研究員 チーフ・プロデューサー

松田 智生

tmatsu@mri.co.jp

松田 智生（まつだ ともお）

1966年東京生まれ

慶應義塾大学法学部政治学科卒業

専門は地域活性化、アクティブシニア論

高知大学・秋田大学・日本福祉大学客員教授

内閣府 高齢社会フォーラム企画委員

内閣官房 地方創生×全世代活躍まちづくり検討会委員

デジタル庁 シェアリングエコノミー伝道師

石川県ニッチトップ企業評価委員

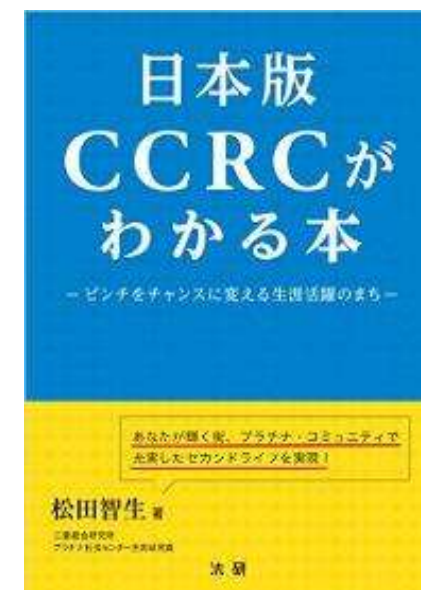
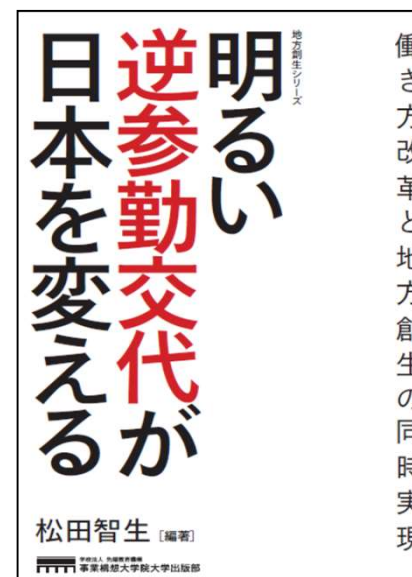
諏訪市関係人口創出アドバイザー

壱岐市政策顧問

【著書】

「日本版CCRCがわかる本」

「明るい逆参勤交代が日本を変える」



逆参勤交代とは何か

- ◇都市生活者の地方での**期間限定型滞在**
- ◇逆参勤交代者が**担い手**、農山漁村の**課題解決に参加**
- ◇制度で作った中央集権を**制度で地方分権**に

江戸の参勤交代	令和の逆参勤交代
江戸に人の流れ	地方に人の流れ
江戸に藩邸整備	地方に住宅、オフィス整備

逆参勤交代は三方よし⇒主語は農山漁村

個人

ウェルビーイング、ワークライフバランス
モチベーションアップ、セカンドキャリア

逆参勤交代

地域

関係人口、担い手増加
オフィス、住宅需要増加
雇用、消費、税收増加

企業

人的資本経営、働き方改革
地方創生ビジネス、SDGs
健康経営、兼業副業

関係人口の課題

◇スモール・ボリュームに留まる

意識の高い人、フリーランス、スタートアップ

◇人材の争奪は不毛

◇マス・ボリュームを制度で動かせ

◇関係人口を一桁増やせ

マス・ボリュームを動かせ！大丸有地区は就労人口35万人

大手町・丸の内・有楽町地区

1. 建物棟数: **約100棟** (解体・建設中を含む)
2. 就業人口: **35万人** (一部、大丸有地区以外も含む)
3. 事業所数: **約4,300 事業所**
4. 地区内に本社をおく東証一部上場企業: **約135社**
5. これら企業の連結売上高: **約155兆円**
6. 地元地権者を中心に、大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会が設立 (昭和63年発足) 現在、**一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会**に移行、会員 86団体

建物**100**棟

就労人口**35**万人

事業所**4,300**

上場企業本社**135**

連結売上高**155**兆



出所)三菱地所 https://www.mec.co.jp/news/detail/2024/01/16_mec240116_marunouchi

全国に広がる逆参勤交代

県庁所在地から数千人の町・村まで23自治体で実施



出所:逆参勤交代HP <https://www.relation-ur.jp/project> より三菱総合研究所作成

逆参勤交代による農山漁村への貢献

◇長野県小諸市

ワイン畑の苗木植え ⇒担い手貢献、再訪

◇高知県須崎市

海のまちプロジェクト業支援 ⇒インバウンド誘致

◇茨城県笠間市

栗の収穫支援 ⇒ふるさと納税

★人・知恵・資金での貢献

逆参勤交代の好事例

◇Aさん 男性

副業開始、古民家リノベ別荘化

◇Bさん 男性

自治体のSDGsアドバイザーに就任

◇Cさん 女性

社員食堂で自治体の地酒・食材のイベント実施

逆参勤交代HPで動画公開 <https://www.relation-ur.jp/>



New

石川県 七尾市

復興支援型逆参勤交代



New

北海道 美幌市

ヨソモノ視点で発見する美幌の未来



New

高知県 須崎市

海のまちプロジェクトを輝かせる



長野県 諏訪市

産業界における担い手創出



New

北海道 乙部町

人口3300人の過疎の町の現実と原石を探る



静岡県 伊東市

観光×移住×定住促進

出所)逆参勤交代プロジェクト <https://www.relation-ur.jp/>

逆参勤交代で得られた知見と課題と解決策

◇ **受動的参加者が宝の山** ⇒ だから**制度**で動かす

◇ **企業の組織的参加**が課題

⇒ 人的資本経営・SDGsとの連動

◇ **移動交通費の負担** ⇒ **法人版GoTo**

◇ **地域通貨**：50時間の就労が5万円の地域通貨

◇ **第二住民制度**：ふるさと納税者 1 千万人

まとめ：令和の逆参勤交代が創る農山漁村の未来

- ◇人材の争奪から共有へ
- ◇マスボリュームを動かせ
- ◇制度設計の重要性
- ◇人が動けば日本が変わる
- ◇一歩踏み出す勇気